



小池雄一

修郎先生の事件簿

～就労ビザ専門会社の現場から～

佐生修郎(さしよう・しゅうろう)は就労ビザ専門会社で働くコンサルタント。その幅広い知識と長年の現場経験、それに深い洞察に基づきさまざまなアドバイスを行い、数々の困りごとを解決してきた。座右の銘は「真面目に不真面目」。

鈴木一郎 大変だ、大変だ、今度うちの工場で新製品を製造することになった。佐生修郎 おお、それはおめでどう。商売繁盛だね。鈴木 ありがどう。がんばるよ。でも、今回は全くの新しい製品群だから、特別な日本人技術者やその新製品の販売企画の担当者もインドネシアに来てもらわなきゃ、こっちにはスキルが足りないよ。佐生 それでは、その人たち向けに就労ビザを取る必要があるね。まずは、労働省に

対して外国人雇用計画書(RPTKA)就労枠を追加申請しなければね。鈴木 もしかして、就労枠の追加取得って難しい? 否認されて就労枠が取れない可能性もあるの? 佐生 それはあるさ。でも、心配し過ぎないようにね。RPTKAプロセス途中で「EXPOSE(エクスポーズ)労働省審議官とのインタビュ―」でどれだけその就労枠の必要性を説けるか、それが勝負だ。

鈴木 インタビュ―って誰が労働省審議官に向き合うの? 佐生 一郎君の会社の総務か人事を担当しているインドネシア人だよ。SKYPE(スカイプ)を使ってネット会議をするのだ。日本人が対

応しても良いけど、基本的にはインドネシア語だからね。鈴木 どうしたら突破できるのさ、秘訣を教えてください。佐生 労働省としては、インドネシア人の雇用を増やしたいし、そのスキルを育成したい。そして、国としても新しいテクノロジ―をどんどん

新プロジェクトがどのようなものか? それがどれだけ雇用を増やす見込みがあるのか? 新製品がどれだけインドネシアにとって新規性があるもので、どんな新しいスキルが移行できるのか? このような観点で説明すれば就労枠はとれるよ。

れを審議官にきちんと説明できるようにしておかなきゃね。佐生 おっしゃるとおり。たとえ新規性が無い場合でも何かしかならざるは無い「ストーリー」を作って説明することが大切だ。就労枠の追加が難しいような場合はより一層エクスポーズ対策が重要になるぞ。鈴木 でも、先日出た新しい労働大臣規定でエクスポーズがなくなったりしないの? 佐生 なくならない。相変わらずエクスポーズはやりま

エクスポーズを突破しろ!

取り入れたい。その意向をくんであげた説明をしてあげれば良いのだ。一郎君の会社の当者がちゃんと理解して、その

佐生修郎 心得えの条
一 外国人向けの就労枠をとるためにはエクスポーズでどれだけその就労枠の必要性が説けるかがポイント。ストーリーをつくるなどの準備しておくこと
二 新しい労働大臣規定が適用になってもエクスポーズはなくなるので、駐在員の増員に関わる継続的な課題として捉えておくこと

すって言っているよ。鈴木 じゃあ、エクスポーズ対策は駐在員を増やすための継続的な課題として認識しておかなきゃね。佐生 そうだ。どんどんビジネス拡大してくれよ。

※本連載は、実際に起きた事例を参考に、インドネシアに滞在、就労する上で気を付ける点について説明するもので、登場人物や事象はフィクションです。実際の事案に対応する場合は、専門家に相談の上、各自のご判断でご検討ください。
「修郎先生の事件簿」は、原則、毎月第1水曜に掲載します。

こいけ・ゆういち FPCインドネシア代表取締役。89年学習院大学、日本アイ・ビー・エム入社。フジスタップへ転職後インドネシアでの事業開発を手掛ける。帰国後に独立。「夢ある街のたいやき屋さん」FC経営を経て、12年8月より現職。栃木県生まれ。52歳。